

「若気の至り」という言葉がありますが、若いから、では済まされない問題があります。

それは性の問題。

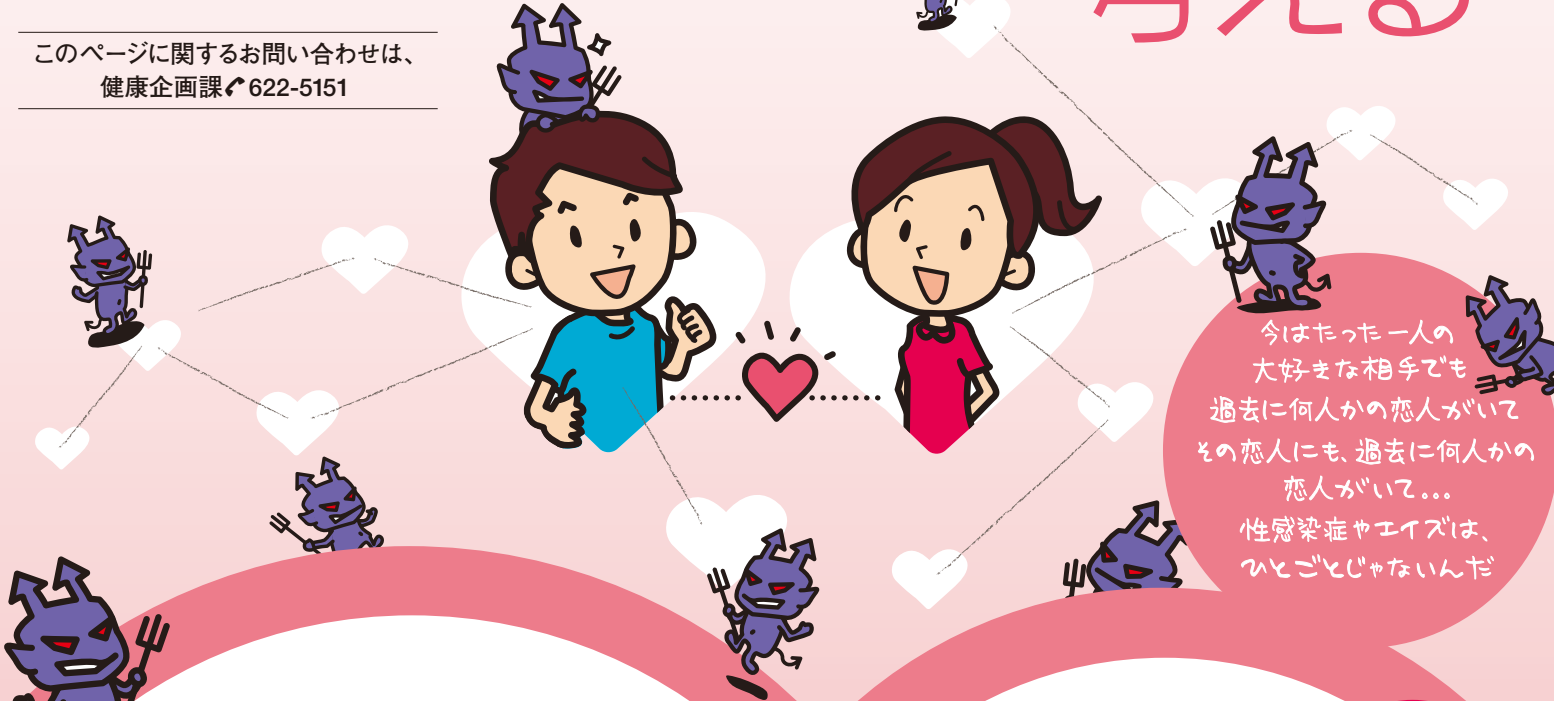
家庭では取り上げづらい話題ですが、避けては通れない、とても大切なこと。

恥ずかしがらずに、

この問題に向き合ってみてください。

# 若者の「性」を考える

このページに関するお問い合わせは、  
健康企画課 ☎622-5151



今はたった一人の  
大好きな相手でも  
過去に何人かの恋人がいて  
その恋人にも、過去に何人かの  
恋人がいて...  
性感染症やエイズは、  
ひとごとじゃないんだ

## 札幌の若者の性は 大丈夫なの？

右のグラフに見るように、札幌の10代の人工妊娠中絶率や性感染症(性器クラミジア)罹患患者数は、全国平均に比べて高くなっています。また、性に関する正しい知識を身に付けている若者が少ないことも、意識調査から分かっています。

このような現状を受け、市では、保健センターの専門職員が希望する小中学校や高校、大学などを訪れて、性感染症などについての健康教育を行っています。

### 札幌の若者の意識調査

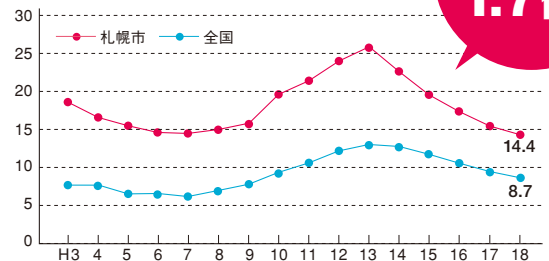
(16歳～19歳、平成18年)

**28%**  
避妊法を正確に  
知っている人

**4.6%**  
正しい性感染症の  
知識を持つ人

### 人工妊娠中絶率

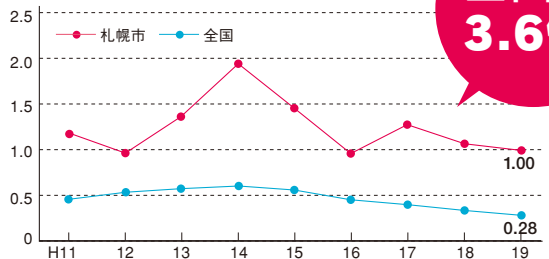
(15歳～19歳の女子人口千対の率)



全国の  
**1.7倍!**

### 性感染症罹患状況

(15歳～19歳、性器クラミジア感染症経年変化、  
定点医療機関における1カ月の患者数の平均)



全国の  
**3.6倍!**

### あなたは大丈夫？ 性の知識〇×クイズ

Q1 性感染症にかかると、必ず自覚症状がある

Q2 ピルは性感染症予防に有効である

左のページに答えがあるよ

### 大切なのは相手を思いやる心



学校での  
健康教育を  
行っている

いのうえ ちえこ  
井上 千栄子  
(中央保健センター助産師)

中学生以下には命の大切さを中心に話しますが、高校や専門学校では性感染症の写真を見せることもあります。若い人たちには、お互いの体の仕組みを知り、思いやる気持ちを持ってほしいと強く願います。「嫌われたくないから言えない...」ではなくて、きちんと話し合えるすてきな関係を築いてほしいですね。